

福岡市議会議員

議会通信第51号(2021年 新春号)

田中しんすけ

新春 特別対談 田中しんすけ×いなとみ修二(衆議院議員)

国政との連携を強め、市民の暮らしを守る!

掲載記事

- 「第9回議会活動報告会」を開催(議会活動)
- 福岡市民クラブ「令和3年度予算要望」を実施(議会活動)
- 平尾商工連合会・プレミアム商品券(地域活動)

立憲民主党

謹賀新年
元気よく!!
胸を張って!!

みなさんにおかれましては、ご家族・ご友人と健やかに年始を過ごされたことと存じます。今年の干支は辛丑(かのうし)。「草木が枯れ衰退する」、「新たな芽が出ようとする」という二つの意味が共存し、「時代の転換期」を迎える年とも言われています。新型コロナウイルスの感染拡大が終息し、人も地域も元気を取り戻して活気あふれる一年になることを大いに期待したいと思います。

福岡市政に関する政策意見交換会

衆議院議員
いなとみ修二

特別対談

福岡市議会議員
田中しんすけ

地域の賑わいづくりに向けて
国からも後押しを!

国と連携してコロナ対策に
万全を期す!

田中: 昨年は新型コロナウイルスに翻弄された1年でした。今年もコロナ対策が一番の課題だと思いますが、福岡市民の暮らしを支えるという観点からは、国政ではどのような取り組みが考えられますか?

稲富: 私の事務所では昨年3月からコロナ相談専用ダイヤルを設けていますが、これまで700件以上の相談が寄せられています。その中でも、政府が実施する支援策について「内容が難しい」「手続きが面倒」「これまでの支援策だけではもたない」といった声が多く聞かれます。さらなる生活給付金や休業支援金の支給といった追加の経済対策が不可欠であり、その際にはもっと簡単な手続きで受給できる仕組みを提案していきたいと思います。

田中: そう言ってもらえると私たちもとても心強いです。また、地域のまちづくりという視点からも、国の支援が必要な部分は多くあります。例えば、平尾地区で進められている県道松原比恵線(山荘通り)の歩道拡幅整備では代議士にもご尽力いただきました。

稲富: 山荘通りの整備については、この1年で大きく前進していますね。特に平尾交差点から山荘通り交差点にかけては、歩道の線形が出来上がり、仮のガードレールも設置されました。今後は電柱の撤去工事に進んでいくと聞いています。また、地元商店街(平尾商工連合会)が福岡市と定期的に協議を行い、ベンチやフラワーポッドの設置など、通りの賑わいづくりに向けて検討を進めているようですね。山荘通りがさらに活気あふれ、地域の皆さんにとって安心・安全な道路となるよう、私も引き続き整備費の確保に取り組んでいきます。

まちづくりの課題に対して
国の支援を求める!

田中: ただ、近年は幹線道路沿いの老朽化したテナントビルがマンションに建て替わるという事象が増えつつあります。

稲富: そうなることで、従来のテナントビルにあった1階店舗スペースがなくなってしまい、次第に通りの賑わいが削がれてしまう...これは田中市議の最近の問題意識でもありましたね。その対策としては、大通り沿いに新築ビルを建てる際に「1階部分を店舗スペースにするインセンティブ(動機)」を建築主に対して付与することが考えられます。優遇税制の創設など、国でもできることがないか検討していきたいです。

議会活動

福岡市議会・福岡市民クラブ『議会活動報告会2020』を開催しました!



市民に向き合う姿勢を忘れずに、「開かれた議会」を目指して活動中!

2020年11月18日(水)、福岡市議会・福岡市民クラブ主催による「議会活動報告会」を天神スカイホールにて開催しました。私が議員となったばかりの時期は、地方議会の存在意義が問われた時期でもありました。当時、「議員はちゃんと仕事してるのか?」「選挙の時に約束した内容はしっかり守ってるのか?」といった声が多く寄せられました。



▲冒頭でご挨拶。コロナ対策にも万全を期しました。

そのような市民の思いや疑問に応えるべく、私が会派での活動報告会を最初に提案したのが12年前。言い出しっぺであったことも踏まえると、今まで継続できていること自体に感慨深いものがあります。



約束したことがどれだけ進んでいるか「会派公約」の実現状況も報告!

福岡市民クラブは2019年の福岡市議選において、任期4年間で実現を目指して取り組む公約集『会派基本政策2019(84項目144施策)』を発表しました。この公約集に掲載している施策の実現に向けて様々な取り組みを行なっていますが、第9回目となる今回の報告会でもその進捗状況についてお示ししました。これに加えて、ここ1年間の市議会での具体的な取り組みやその成果について報告するとともに、とりわけ今年には新型コロナウイルス対策に関する福岡市の施策について解説しました。

また、質疑応答の際には、コロナ禍における不安をはじめ、医療・福祉・教育・まちづくり等、幅広い分野にわたって多くの意見・要望を賜りました。



▲参加頂いた皆さんに心より御礼申し上げます!

議会活動

コロナ対策をはじめ「暮らしを守る」施策を求めて! 福岡市長に『令和3年度予算要望書』を提出しました!



多くの市民の声を要望書に凝縮し、高島市長に直接要望書を提出!

2020年12月8日(火)、福岡市議会・福岡市民クラブ所属議員10名全員で『令和3年度予算要望書』を高島市長に提出しました。この会派による予算要望は毎年この時期に実施しているものですが、その内容については、前回の市議選においてお示した公約集『会派基本政策2019』をベースに、政策の進捗状況や「議会活動報告会」で寄せられた意見を踏まえて毎年追加・修正を加えています。



▲会派所属議員10名全員で予算要望に臨みました!



政策の優先順位の見直しも図りながら、市民の暮らしを守る施策の実施を要望!

今年はこのコロナ禍で、普段と比べても多くの団体・個人の方々から市政に関する要望や意見を頂きました。それらの声も取り入れながら会派内で相当な議論を重ねた結果、今回の予算項目数は86項目(210施策)というかなり充実したものになっています。一方で福岡市においては、来年度も引き続き市税収入の減少が見込まれており、新たな施策を行うためには、既に実施を予定している施策の見直しも必要です。

私たち福岡市民クラブは、市民の暮らしと生命を守るために必要な施策が実施されるよう、国政や県政との連携を図りながら、会派所属議員10名全員が丸となって全力で行動していきます!



▲会派を代表して要望概要を執行部に伝える。

地域活動

平尾商工連合会『プレミアム商品券』が追加発行されます!

平尾商工連合会が昨年11月から販売を開始した平尾プレミアム商品券。従来の紙冊子形式(2000万円)に加えて、新たにキャッシュレス商品券「ひらぐらペイ」(2000万円)も発行しましたが、初日から売れ行きは好調で、紙冊子は販売開始後3日で完売、ひらぐらペイも残りわずかとなりました。

地域の方々から大変ご好評いただいているこの平尾プレミアム商品券ですが、今年3月に追加発行する方向で検討が進んでいます。また、今回の追加発行を機に、商品券を利用できる店舗数も増加することが見込まれており、利用期間も最大6か月間に延長されるなど、これまで以上に充実した内容となる予定です。随時、連合会ホームページのチェックをよろしくお願いいたします!



▲電子商品券「ひらぐらペイ」は絶賛販売中!



私の思いや日々の活動を
LINE@で配信中
登録お願いします!



田中慎介 プロフィール

西宮小学校	卒業 1991年	早稲田大学大学院	修了 2004年
西南学院中学校	卒業 1994年	アクセンチュア(株)	入社
筑紫丘高等学校	卒業 1997年	福岡市議会議員4期	当選 2019年
九州大学法学部	卒業 2001年		

田中しんすけ市政相談所

〒810-0014 福岡市中央区平尾2-3-21 2F
TEL:092-521-3650 FAX:092-521-5221 E-mail:info@tanakashinsuke.jp

1978年6月14日生(42歳)

福岡市民クラブ

議会通信

vol. 84
2021年 新春号

〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1
福岡市庁舎議会棟 福岡市民クラブ議員控室
Tel:092-711-4736 Fax:092-732-4055
http://fukuokashimin.jp/

年頭にあたり 謹んで新春のお慶びを申し上げます

昨年は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、私たちの暮らしは多大な影響を受けました。誰も経験したことのないウイルスとの戦いの中、多くの課題に直面しながらも、対策を講じつつ前進してきました。これらの教訓を活かして、市民の命と財産を守るための備えを強化するとともに、豊かな暮らしと地域の活性化につなげていくため、10名会派一丸となって政策の実現に邁進します。

福岡市民クラブ 一同

令和3年度、予算要望を市長に提出しました！

12月8日(火)、高島市長に「令和3年度予算要望」を提出しました。皆さまにお示ししております『会派基本政策2019』(※)の4つの戦略に基づく施策をベースに、新型コロナウイルス感染症対策も含め、要望を提出しました。提出にあたっては、11月18日(水)に開催した議会活動報告会でいただいたご意見も加え、要望は「全86項目210施策」にのぼりました。

- 【戦略別の提案施策】

■生活保障戦略

①介護サービス事業所への追加支援、②日常的な感染症対策としての保健所機能の強化、③障がい福祉サービス事業所の運営への支援策 他、68施策。

■成長戦略

①福岡空港・博多港の国際線・航路の検疫体制の強化、②交通手段として利用者が急増している自転車の安全対策 他、48施策。

■地域主権戦略

①オンラインで手続きできる行政サービスの広報周知、②オンラインを推進しつつ個人情報の提供に関する厳格性の担保他、34施策。

■共生戦略

①35人以下学級の実地に必要な教職員の増、②オンライン授業の拡充に向けた教材や教職員向け研修の充実 他、60施策。

TOPICS

「議会改革、一步前進！」

「福岡市議会会議規則の一部を改正」

福岡市議会では、議会改革特別委員会での議論を経て、議員が出席できないときの理由として、育児と家族の介護を追加する必要があることから、規則の改定を行ないました。(以下の赤字表記の部分を追加しました。)

(欠席の届出)

第2条 議員は、疾病、出産、**育児、家族の介護**

その他自己のため出席できないときは、その理由をつけ、当日の会議時刻までに議長に届け出なければならない。

私たちの要望が、令和3年度予算に反映されるよう、第1回定例会の予算審議に向けてしっかりと準備を進めていきます！
 ※会派基本政策2019は、福岡市民クラブ公式ホームページに掲載しております。



▶ 新型コロナウイルス対策に、更なる追加補正

①PCR検査体制の強化

- ・**検査センター増設**：接触確認アプリ（COCOA）で通知を受けた方等を対象としたPCR検査サテライトを天神（市役所横）に開設
- ・**出張PCR検査の実施**：高齢者施設や感染流行地域等を対象に専用車両による出張検査

②高齢者を対象としたPCR検査への助成

65歳以上の高齢者を対象に、PCR検査を希望する方の検査費用を助成 ※医療機関での検査を予定（詳細は1月公表予定）

③学習指導員の追加配置

長期にわたった臨時休業の影響により、学習内容の理解や定着が不十分となっている児童生徒に対応するため学習指導員を追加配置

令和二年度 第6回福岡市議会(定例会)開催

令和2年度第6回定例会12月10日(木)～18日(金)が開催され、新型コロナウイルス感染症の追加対策や職員の期末・勤勉手当の削減を含む令和2年度一般会計補正予算、一般議案など全72議案について審議しました。(追加コロナ対策については、左面参照)

議案より

子どもの医療費の助成範囲拡大へ条例改正

子どもの保健の向上と福祉の増進を図るため、通院にかかる子ども医療費助成事業の対象者の範囲を**中学生まで**拡大します。

●自己負担額

通院にかかる医療費の1月あたりの自己負担額の上限を1医療機関につき、500円に変更。

●施行期日

令和3年7月1日(7月の受診分から対象)

【改正内容】

区 分	現行制度	改正後
3歳未満	自己負担なし	自己負担なし
3歳以上就学前	月 600円まで	月 500円 まで
小学生	月 1,200円まで	
中学生	(制度対象外)	

学校に実効性ある働き方改革のかぜを！

一般質問[12月11日]

落石 俊則（東区）

子どもたちの「学びの保障」のためには、学級運営に加え、理解や定着を促せる教職員の配置が重要です。しかし、コロナ禍もあり、教職員の常態化した長時間勤務は一向に改善されず、病気休職者が増加するなど、ますます労働環境は悪化しており、**教職員の健康維持対策が急務**です。学校現場への支援員等の配置を進めるとともに、学級運営に支障をきたさないよう、**時間外勤務の解消や人的配置等、学校のさらなる働き方改革の推進を要望**しました。
 市の調査で多くの高齢者が就業を希望していることが明らかになりました。高齢者は健康状態・職業経験等の個人差があり、希望する業種・職種も多岐に渡っており、また事業者とのミスマッチもあることから、**ハローワーク等の関係機関との連絡・調整を行う総合的な窓口部署の設置を要望**。高齢者に特化した就業相談窓口『シニア・ハローワークふくおか』の開設に向け、国と調整を進めていく、との答弁を得ました。

悲しい虐待を未然に防ぐために周知徹底を

一般質問[12月14日]

ついちはら 陽子（東区）

本市の児童虐待の相談対応件数は、令和元年度2,910件で5年前の約3倍にも及び、年々増え続けています。全国の虐待死した子どもの年齢構成をみると、0歳児が全体の約半数で最も多く、市内調査による虐待者の半数は実母となっています。虐待者に実母が多い背景について、当局からは核家族化等に伴う育児不安などの増大があげられました。育児不安を取り除き、母子の心と体の健康状態を把握するため本市が実施している「**乳児家庭全戸訪問の実施率は90%と高いものの、未実施の家庭に虐待の可能性が秘められているものと推察**されます。
 母親にとって、心身の健康状態が不安定で育児不安を抱える時期に確実に面談ができることが、虐待を未然に防ぐためにも有効であり、非常に重要であると考えます。乳児家庭全戸訪問事業については、様々な関係機関と連携して、母子共により確実に安全確認を取れるよう、他都市の事例も参考にしながら尽力してもらうよう要望しました。

市民に親しまれる研究開発拠点の建設を！

議案質疑[12月10日]

田中 たかし（西区）

市職員の給与に関する一般会計予算の補正は、期末・勤勉手当が引き下げになることから減額となっています。人事委員会勧告を踏まえたこの引き下げはやむを得ませんが、一方で時間外勤務手当が大幅な追加補正となっており、**感染対策や経済対策などの職務に励む職員の労働時間が大幅に増加している点を指摘。体調管理も含めて良質な労働環境を維持するために適切な配慮をするよう要望**しました。
 九大伊都キャンパス周辺地域を「研究開発拠点の形成を図る地区」にするため実施される用地取得については、市が取得した西区元岡の土地を民間事業者に売却し、開発を進めるもの。民間により進められる事業のため、景気動向などにより当初の提案書通りに進捗しなかった場合は是正措置について確認。今後も事業者と連携を密にし、周辺住民へ丁寧な説明をするとともに、**地域の要望も取り入れながら市民や利用者に親しまれる施設が確実に建設されるよう強く要望**しました。

地元食材を活かしWFエリアに観光スポットを

一般質問[12月14日]

山田 ゆみこ（博多区）

福岡市は豊かな自然に恵まれた都市ですが、ココという観光スポットがないと言われます。現在、ウォーターフロント(=WF)地区の再整備を進めようとしていますが、コロナ禍により当初の計画やスケジュール通りに進められない状況となっています。ポストコロナ時代を見据え、元氣な福岡市を維持するために、再整備計画にある賑わいの創出施策として、玄界灘で取れる海の幸などの地元食材を活かした施設、例えば店舗式の屋台村のような施設を設置し、観光スポットとできないかと考えました。
 賑わいの創出と合わせて、**初めて飲食店を出してみたい方や、腕を振ってみたい料理人がチャレンジできる、飲食版スタートアップといった行政が後押しする施策**などを取り入れることも提案しました。国内外からの来街者をはじめ市民も楽しめる、海辺空間を活かした身近な観光スポットとしてWFエリアが本市の代表的な観光名所になるような整備計画となるよう要望しました。

女性の視点を生かした地域防災の推進を求む

一般質問[12月15日]

成瀬 穂美（南区）

災害時の避難所で、女性と男性のニーズの違いが配慮されなかったり、わいせつ事案や性暴力が報告されたりしていることから、女性の視点での避難所運営について質問しました。
 本年5月に内閣府より男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドラインが出されたことを受け、本市での避難所運営の対応について尋ねたところ、男女別のレイアウトやゾーニングについての回答はありましたが、それはもちろんのこと、**危険を感じたり被害にあったりときの相談のしやすさや情報の収集と共有、男女共同参画推進センターや保健所、警察など専門機関との連携なども必要だと指摘**しました。
 意思決定過程への女性の参画について尋ねたところ、地域の自主防災組織の女性会長はわずか3%と判明。今後、女性の防災リーダーをどう育成していくのか、所見を問うとともに防災リーダーは男女各1名ずつにするなど**女性の声を反映しやすい組織づくりを推進するよう要望**しました。